

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林の公益的機能PR推進事業（継続）
流域名	埼玉
実施箇所及び実施日	秩父市大宮「道の駅ちちぶ」5月8日（土）・9日（日）、11月6日（土）・7日（日） 秩父市田村「秩父ミュージアムパーク」10月16日（土）・17日（日） 秩父市大野原「秩父市公設地方卸売市場」11月21日（日）
取組の背景及び必要性	秩父地区木材利用拡大検討会等が主催するイベントに参加し、森林・林業のPR、木工品の販売、国産材利用の呼びかけを行い、森林・林業の大切さを理解する者の拡大を図りたい。
取組の内容	<p>① 道の駅で行われた「木の香る秩父フェスティバル」に参加し、パンフレット配布、紅葉パウチ等を行った。</p> <p>② 秩父ミュージアムパークで行われた「秩父はんじょう博」に参加し、緑の回廊等のパンフレット配布、糸鋸教室等を行った。</p> <p>③ 秩父市公設地方卸売市場で行われた「ちちぶ市場感謝祭」に参加し、木工キット（椅子、CDラック等）の組み立て指導、糸鋸教室等を行った。</p>
国有林担当部局・役割	埼玉森林管理事務所；秩父地区木材利用拡大検討会の一員であり、先導的な役割を担う必要がある。
連携協働相手先・役割	埼玉県秩父農林振興センター（事務局）、東京大学秩父演習林、秩父広域森林組合、製材業者、木工業者等

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林の公益的機能 P R 推進事業（継続）
-------	-----------------------

○「道の駅ちちぶ」での紅葉パウチの様子



○親子で糸鋸教室参加の様子



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	ボランティアによる森林づくり（継続）
流域名	埼玉
実施箇所及び実施日	①「ツキノワの会」は浦山国有林14へ2林小班内において、植生調査や動物生息調査を実施している。 ②「森と人の会」は三境国有林35は3林小班内において、間伐等を行った。
取組の背景及び必要性	① 「ツキノワの会」の活動目的は、人と野生動物の共存を考えるであり、平成22年4月1日付けで協定締結し、ヒノキ造林地のシカ食害跡地で動植物の生息調査等を実施しており、生物多様性の保全のためにもフィールドの提供が必要と考える。 ② 平成22年4月1日付けで協定締結した団体「森と人の会」は平成11年に発足し、森林整備作業を通して地域の自然に触れ自然保護に寄与することを目的としている。
取組の内容	① 平成10～14年度にかけてブナ、ミズナラ等を900本程度植栽し、シカ食害防止用ヘキサチューブを被せ、10年度以前に植栽していたヒノキ5,000本弱にポリネットを被せる作業を行った。 15年度以降はヘキサチューブの補修や撤収を行ってきたが、片道2時間の徒歩によって活動を行ってきたため活動人数が少なくなり、現在は植生調査等を行っている。 ② 毎回5～6名の参加で、チェーンソーの所有者が主体であり、間伐木は玉切りして横積みし、枝打ちも行っている。
国有林担当部局・役割	埼玉森林管理事務所：フィールドの提供、ボランティア協定の締結、森林整備の技術指導等
連携協働相手先・役割	ボランティア団体：参加者の募集、資材の提供等

【 参 考 資 料 】

取 組 名

ボランティアによる森林づくり（継続）

○手工具による間伐作業



○チェーンソーによる間伐作業



○間伐後の林内



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	社会体験チャレンジ事業（継続）
流域名	埼玉
実施箇所及び実施日	当所会議室、浦山国有林、中川国有林 秩父第一中学校1年生5名、22年7月7日(水)～9日(金) 高篠中学校2年生4名、尾田蒔中学校2年生2名、22年8月26日(木)～30日(月)
取組の背景及び必要性	地域の中での様々な社会体験活動を通して、多くの人々とふれあい、学校では得られない経験を積むことで、豊かな感性や社会性、自立心を養い、たくましく豊かに生きる力を育むことをねらいとしての職場体験学習であり、国有林野事業を知り、森林に興味を持ってもらう機会である。
取組の内容	林野庁の仕事内容を全て教えることは困難であるため、国有林のあらまし、埼玉所の国有林、緑の回廊、森林の働き、森林の育て方などの講義、治山事業について（工事現場の見学）、間伐体験、コンパス測量実習を行った。
国有林担当部局・役割	埼玉森林管理事務所；学習指導、体験指導、安全確保
連携協働相手先・役割	各中学校；生徒の体験先振り分け、依頼文送付、体験状況の確認、感想文集作成、礼状送付

【参考資料】

取組名	社会体験チャレンジ事業（継続）
-----	-----------------

○講義の様子



○伐採体験風景



○大滝奥国有林カツラ見学



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林クラフト教室（継続）
流域名	埼玉
実施箇所及び実施日	埼玉森林管理事務所会議室 平成22年12月5日（日）
取組の背景及び必要性	当事務所の業務内容の説明を兼ねて、平成8年から継続しているものであり、国有林の存在を知ってもらうためには重要である。
取組の内容	業務の合間等に採取してきた蔓や木の実、松かさ、スギの葉などを使ってクリスマスリース作りを行っている。 募集は、午前15名、午後15名程度として、本年度は32名の参加があった。
	指導は職員が、事前にサンプルを作成しておくと共に、作成指導も行っている。当日は会議室に材料を搬入し、適宜、個人の好みによって2個を限度に作成している。 玄関ホールには、テレビを設置し森林に関するビデオを放映した。
	国有林担当部局・役割
連携協働相手先・役割	なし

【参考資料】

取組名	森林クラフト教室（継続）
-----	--------------

○クリスマスリース作り風景



○ NHK 埼玉放送局が取材



○ クリスマスリース作品



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	緑の回廊シカブロック設置事業（継続）
流域名	埼玉
実施箇所及び実施日	大滝奥国有林 平成22年8月8日（日）
取組の背景及び必要性	秩父山地緑の回廊では、これまでも様々な取組をしてきたが、近年、シカによる樹木の皮の食害が頻発し、樹木が枯死している状況にあることから、緑の回廊稜線部分の貴重な大径木を主体に、獣害保護を行う必要がある。
取組の内容	<p>秩父市を5:30に出発し、18:00に帰着ということから、参加者の安全を確保するため事前に踏査を行い、落伍者や事故もなく無事に終了することができた。</p> <p>参加者は当所が10名、NPO法人・秩父の環境を考える会、環境省、埼玉県環境管理事務所、秩父市役所、公募者、国有林野保護監視員、一般登山者を含め15名、総勢25名で笠取山（1953m）山頂付近に樹木保護ネットを設置した。</p> <p>保護ネットは、コメツガ、、シラベなどの針葉樹に、高さ140cmのプラスチック製のネットを根元から巻き付けた。</p>
国有林担当部局・役割	埼玉森林管理事務所；秩父市報への掲載依頼、プレスリリース、関係団体への依頼
連携協働相手先・役割	共催；秩父の環境を考える会

【参考資料】

取 組 名

緑の回廊シカブロック設置事業（継続）

○樹木保護ネット運搬



○樹木保護ネット設置

